

平成16年11月8日

各 位

会社名 株式会社 D T S
代表者名 代表取締役社長 赤羽根 靖隆
(コード番号 9682 東証第1部)
問合せ先
常務取締役コーポレートスタッフ本部長 川田 哲三
(TEL. 03 - 3437 - 5488)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成16年5月18日に公表いたしました平成17年3月期中間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成17年3月期中間業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年5月18日発表)	17,678	1,543	624
今回修正予想(B)	17,678	1,949	992
増減額(B-A)	-	406	368
増減率	-	26.3%	59.0%
前年同期(平成15年9月中間期)実績	17,437	1,378	729

(単独)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年5月18日発表)	15,246	1,492	616
今回修正予想(B)	15,246	1,870	977
増減額(B-A)	-	377	360
増減率	-	25.3%	58.5%
前年同期(平成15年9月中間期)実績	15,203	1,309	729

2. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（連結）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 18 日発表）	38,531	3,980	1,869
今回修正予想（B）	37,205	4,053	2,055
増減額（B - A）	1,326	72	186
増減率	3.4%	1.8%	10.0%
前期（平成 16 年 3 月期）実績	37,094	3,693	1,805

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 168 円 11 銭

（単独）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 18 日発表）	33,200	3,792	1,820
今回修正予想（B）	32,107	3,877	2,014
増減額（B - A）	1,092	84	193
増減率	3.3%	2.2%	10.6%
前期（平成 16 年 3 月期）実績	31,917	3,450	1,809

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 164 円 71 銭

3. 修正の理由

（1）中間業績の修正理由

売上高

売上高については、当初計画通りに推移しています。

経常利益

経常利益については、生産性の向上とプロジェクト管理強化による採算の向上により、売上総利益率が当初計画と比べて、連結ベース、単独ベースともに 2%程度上昇したことにより、当初計画を上回る見込みとなりました。

中間純利益

中間純利益については、経常利益が増加したことに加え、当初計画では、独身寮 2 カ所の売却に伴う固定資産売却損 3 億 51 百万円を織り込んでいましたが、1 カ所だけの売却となったために、固定資産売却損が 1 億 41 百万円にとどまる見通しとなりました。したがって、当初計画を大幅に上回る見込みとなりました。

(2) 通期業績の修正理由

売上高

売上高については、当期中に売上計上を予定していた案件の納品・検収が、来期にずれ込む見込みとなったこと、金融機関の新たな統合の動きを受け、当初計画に織り込んでいた案件が中断したこと等の影響により、当初計画と比べて減少する見込みです。

経常利益

売上高は当初計画と比べて減少する見込みとなりましたが、上半期において売上総利益率が当初計画を上回ったことに加えて、下半期においても同水準の利益率の維持が可能であり、経常利益については当初計画を上回る見込みです。

当期純利益

経常利益が当初計画と比べて増加する計画となったこと、通期で3ヵ所を予定していた独身寮の売却が、現状では2ヵ所となる見込みとなり、固定資産売却損が当初計画と比べて約2億円減少する計画としたため、当期純利益は当初計画を上回る見込みです。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成しており、リスクや不確定な要因が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因により予想とは異なる結果となり得ることがございますのでご了承願います。

以上